

中期事業計画の評価

(平成30年度～令和2年度)

宮城県信用保証協会

1 基本方針

(1) 業務環境

① 宮城県の景気動向

平成30年度は、震災復興需要のピークアウトなどから、経済活動は震災復旧工事を中心に縮小傾向であるものの、概ね高水準で推移しており、基調としては緩やかに回復している中、弱い動きもみられた。令和元年度は、秋以降消費税率の引き上げ及び台風19号による影響、さらには、年明け以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県内経済は急速に悪化し、飲食店やホテル業界を始め幅広い業種で厳しい状況となった。令和2年度以降も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、厳しい状況にあるが、緊急事態宣言下にあった令和2年4月、5月を底として、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているほか、生産活動でも、低下していた電子部品・デバイスが年度後半からスマートフォン向けや自動車向けで好調となり、輸送機械が新型車効果により生産量が増加するなど、県内経済は緩やかに持ち直しつつある。

② 中小企業・小規模事業者を取り巻く環境

地域の中小企業・小規模事業者(以下、「中小企業者等」という。)を取り巻く環境は、沿岸部におけるインフラ整備の遅れや事業再開を果たした企業においても、販路喪失や原材料価格・人件費の高止まりに加え労働力及び後継者不足等、依然として懸念材料は多くみられた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響については、外出自粛や時短要請等に伴う消費低迷、観光客の減少等厳しい状況が続く中、政府の資金繰り支援や各種補助金等による政策効果から企業の倒産件数は減少している。しかしながら、売上減少の長期化や借入増加から過剰債務に陥る企業の増加など、地域経済を下振れさせるリスクが懸念され、今後のコロナ対策の長期化とともに、息切れによる休廃業や倒産企業の増加が予想されるなど、中小企業者等を取り巻く環境は依然として厳しく、予断を許さない状況にある。

(2) 業務運営方針

宮城県の震災復興計画10年間において、平成30年度から3年間は最終段階となる「発展期」に位置付けられており、当協会は、被災した中小企業者等の復旧・復興支援に努める一方、その他の中小企業者等に対しても、個々の経営実態、特性に十分に配慮し、企業のライフステージにおける様々な局面で必要とする資金需要に対し、迅速・的確に対応するとともに、県・市町等の関係機関が取り組む施策との連携を図りながら支援を拡充していく。

また、平成30年4月から施行された信用補完制度の改正内容を踏まえ、中小企業者等の経営改善・生産性向上を促すため、金融機関との対話をより一層推進し、連携体制を構築のうえ、適切なリスク分担による金融支援に注力するほか、地方自治体や金融機関と協力し、セミナー開催により創業や事業承継に関する支援の充実を図る。更には、学生等幅広い層を対象とした説明会により起業マインドの醸成を図るなど金融教育にも取り組み、地方創生に貢献していく。

経営支援・再生支援については、今後、自主的な支援に向けた体制強化がより一層重要となることから、サポート会議の開催や外部専門家派遣事業及びよろず支援拠点等を積極的に活用し、中小企業者等の経営力の強化に取り組むほか、協会自らがコーディネート機能を十分に発揮した付加価値サービスの提供に努める。

回収については、担保や第三者保証のない求償権の累増により回収環境が厳しさを増す中、民法改正への対応に注視しつつ、初動を徹底し回収方針に沿った効率的な回収に努めるとともに、保証協会債権回収株式会社を活用した回収の合理化・効率化に努めていく。

そのほか、財政基盤の強化及び業務の効率化、コンプライアンス態勢の推進、人材育成と広報の強化、システムへの不正防止等や災害に対するリスク管理の徹底に取組み、「信頼される協会」、「顔の見える協会」を目指し、より一層業務に邁進していく。

以上の基本方針の下、平成30年度から令和2年度の3か年計画において、以下の事項を主要項目に掲げ、積極的に取り組んできた。

【保証部門】

- 1 政策保証への取組み
- 2 新たな保証利用への取組み
- 3 中小企業者等の経営改善・生産性向上に向けた取組み
- 4 地方創生等への貢献を果たすための取組み

【期中管理・経営支援部門】

- 5 金融機関・関係機関と連携した経営支援への取組み
- 6 期中支援・期中管理への取組み
- 7 事業再生支援への取組み

【回収部門】

- 8 求償権回収の効率化

【その他間接部門】

- 9 コンプライアンス態勢の推進への取組み
- 10 人材育成の充実・強化等への取組み
- 11 財政基盤の強化及び業務の効率化への取組み
- 12 リスク管理の徹底への取組み
- 13 広報の強化への取組み

2 中期業務運営方針についての取組状況及び自己評価

【(1)保証部門】

宮城県信用保証協会

重点課題	取組状況及び自己評価																																																							
1 政策保証への取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ 「信用補完制度の見直し」により改正及び創設された「創業関連保証」「小口零細企業保証」「事業承継関連保証」等について説明会や研修会などで周知し、中小企業者等が置かれているさまざまな経営環境やライフステージの局面で必要とされる資金需要に対し、各種政策保証制度の提案を行った。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症により被害を受けている中小企業者等に対する迅速・的確な資金供給が最大の課題であると位置付け対応した。（関係機関等への訪問等は自粛又は中止）</p> <p>【広報・周知活動等】</p> <table border="1" data-bbox="786 770 2107 1460"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制度説明会等</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>38回</td> </tr> <tr> <td>（県制度説明会等）</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>（中小企業家同友会）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>（みやぎ工業会）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>（仙台市医師会）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>（事業承継・引継ぎ支援センター他）</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td>金融機関勉強会等</td> <td>131回</td> <td>69回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>金融機関訪問</td> <td>970回</td> <td>949回</td> <td>388回</td> </tr> <tr> <td>市町村・商工会等訪問</td> <td>220回</td> <td>229回</td> <td>66回</td> </tr> <tr> <td>創業・事業承継セミナー</td> <td>23回</td> <td>16回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ホームページ閲覧回数</td> <td>94,617回</td> <td>121,749回</td> <td>195,338回</td> </tr> <tr> <td>LINE発信回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>22回</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	制度説明会等	5回	5回	38回	（県制度説明会等）	5回	5回	12回	（中小企業家同友会）	-	-	1回	（みやぎ工業会）	-	-	1回	（仙台市医師会）	-	-	1回	（事業承継・引継ぎ支援センター他）	-	-	23回	金融機関勉強会等	131回	69回	16回	金融機関訪問	970回	949回	388回	市町村・商工会等訪問	220回	229回	66回	創業・事業承継セミナー	23回	16回	1回	ホームページ閲覧回数	94,617回	121,749回	195,338回	LINE発信回数	-	-	22回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																					
制度説明会等	5回	5回	38回																																																					
（県制度説明会等）	5回	5回	12回																																																					
（中小企業家同友会）	-	-	1回																																																					
（みやぎ工業会）	-	-	1回																																																					
（仙台市医師会）	-	-	1回																																																					
（事業承継・引継ぎ支援センター他）	-	-	23回																																																					
金融機関勉強会等	131回	69回	16回																																																					
金融機関訪問	970回	949回	388回																																																					
市町村・商工会等訪問	220回	229回	66回																																																					
創業・事業承継セミナー	23回	16回	1回																																																					
ホームページ閲覧回数	94,617回	121,749回	195,338回																																																					
LINE発信回数	-	-	22回																																																					

重点課題	取組状況及び自己評価									
	【資金繰り支援】 (単位：百万円, %)									
		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		件数	金額	前年比	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	全体保証承諾	8,807	100,675	109.8	8,727	104,733	104.0	23,250	421,423	402.4
	創業関連保証承諾	302	2,029	113.7	300	1,803	88.9	220	1,369	75.9
	小口零細企業保証承諾	959	3,975	163.0	941	3,783	95.2	338	1,436	38.0
	県・市町村制度保証（コロナ関連除く）	7,059	82,125	111.8	7,094	84,878	103.4	2,837	35,935	42.3
	東日本大震災復興緊急保証承諾	267	4,851	85.1	596	10,085	207.9	195	3,605	35.7
	新型コロナウイルス関連保証承諾	-	-	-	150	2,262	-	19,200	373,731	16,522.1
	うち「県CV保証」	-	-	-	-	-	-	17,277	320,225	-
事業承継関連保証承諾	2	32	-	3	41	128.1	2	14	34.1	
〔自己評価〕										
<p>各種政策保証制度について、関係機関に対する説明会等を通じて周知に努めたことや、金融機関との勉強会等で対話を重ねたことにより、保証承諾は3年連続して計画を達成することができた。</p>										
<p>また、東日本大震災により被災した中小企業者等の復旧・復興のため東日本大震災復興緊急保証などを活用し資金繰り支援を行ったほか、新型コロナウイルス感染症により深刻な影響を受けている中小企業者等に対しては、直ちに相談窓口を設置したうえ、組織横断的な業務体制や業務の流れを改善することで迅速な資金繰り支援を行うことができた。</p>										
<p>今後は、ポストコロナを見据え、中小企業者等が置かれているライフステージに応じた資金需要を的確にとらえ、金融機関と連携を図りながら個々の実情に即した金融支援に努める。</p>										

重点課題	取組状況及び自己評価																																											
2 新たな保証利用への取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ 関係機関との説明会、勉強会等を開催し信用補完制度の仕組みや改正点、各種保証制度の説明を行うなど相互理解を深めた。特に金融機関女性職員を対象とした「保証業務研修会」を開催し、金融機関職員に対する保証業務周知の底上げを図った。また、創業セミナーを開催し創業の基本知識や創業関連保証の周知を図ったほか、事業承継に直面する中小企業者等に対しては事業承継セミナーを開催し、事業承継の留意点や制度の周知に務めた。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で早急に資金が必要な事業者への資金繰り支援を最優先し、相談窓口を開設したほか、コロナ関連保証について金融機関及び関係団体に対し周知した。</p> <p>そのほか、当協会のホームページ、SNS（LINE）を活用し、新たな保証利用への促進に努めた。（予定していた各種セミナー（創業、事業承継）は新型コロナウイルスの感染拡大により中止）</p> <p>【広報・周知活動等】</p> <table border="1" data-bbox="779 986 2123 1458"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制度説明会等</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>38回</td> </tr> <tr> <td>金融機関勉強会等</td> <td>131回</td> <td>69回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>（女性研修会）</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>金融機関・市町村等訪問</td> <td>1,190回</td> <td>1,178回</td> <td>454回</td> </tr> <tr> <td>創業・事業承継セミナー</td> <td>23回</td> <td>16回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>ホームページ閲覧回数</td> <td>94,617回</td> <td>121,749回</td> <td>195,338回</td> </tr> <tr> <td>LINE発信回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>22回</td> </tr> <tr> <td>利用企業者数</td> <td>17,740企業</td> <td>17,363企業</td> <td>21,327企業</td> </tr> <tr> <td>保証利用度</td> <td>28.8%</td> <td>29.3%</td> <td>36.0%</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	制度説明会等	5回	5回	38回	金融機関勉強会等	131回	69回	16回	（女性研修会）	2回	3回	1回	金融機関・市町村等訪問	1,190回	1,178回	454回	創業・事業承継セミナー	23回	16回	1回	ホームページ閲覧回数	94,617回	121,749回	195,338回	LINE発信回数	-	-	22回	利用企業者数	17,740企業	17,363企業	21,327企業	保証利用度	28.8%	29.3%	36.0%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																									
制度説明会等	5回	5回	38回																																									
金融機関勉強会等	131回	69回	16回																																									
（女性研修会）	2回	3回	1回																																									
金融機関・市町村等訪問	1,190回	1,178回	454回																																									
創業・事業承継セミナー	23回	16回	1回																																									
ホームページ閲覧回数	94,617回	121,749回	195,338回																																									
LINE発信回数	-	-	22回																																									
利用企業者数	17,740企業	17,363企業	21,327企業																																									
保証利用度	28.8%	29.3%	36.0%																																									

重点課題	取組状況及び自己評価									
	【資金繰り支援】 (単位：百万円, %)									
		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		件数	金額	前年比	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	新型コロナウイルス関連保証承諾	-	-	-	150	2,262	-	19,200	373,731	16,522.1
	創業関連保証承諾	302	2,029	113.7	300	1,803	88.9	220	1,369	75.9
	短期継続型保証承諾	73	1,031	-	164	2,405	233.3	116	1,753	72.9
	事業承継関連保証承諾	2	32	-	3	41	128.1	2	14	34.1
	協調支援保証承諾	36	1,147	-	39	1,215	105.9	14	412	33.9
	宮城県富県宮城資金保証承諾	7	156	-	10	276	176.9	2	32	11.6
	仙台市社会起業家支援特区保証承諾	6	62	54.9	14	95	152.9	13	129	135.3
<p>[自己評価]</p> <p>低金利競争に伴う保証料負担の割高感や、商況不振等による中小企業者数減少等を要因に保証利用度は伸び悩んでいたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者等への資金繰り支援を最優先課題と捉え、役職員一丸となって迅速な資金繰り支援に努めたことや、金融機関との連携・協力もあり保証利用促進が図られた。</p> <p>また、コロナ関連保証について県内本店の金融機関を個別に訪問・説明したほか、当協会のホームページ及びSNS（LINE）を活用し、保証制度の周知や国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策（家賃支援給付金等）の周知を図るなど連携した支援ができた。</p>										

重点課題	取組状況及び自己評価																																			
3 中小企業者等の経営改善・生産性向上に向けた取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ 中小企業者等の経営改善・生産性向上を図るため、当協会が事務局となり「みやぎ中小企業支援ネットワーク会議」を開催し、金融機関・関係機関等と情報共有を図るとともに、保証協会からの提案や、中小企業者等の要請により「サポート会議」を開催し、金融機関と連携した支援に努めた。</p> <p>また、金融機関と当協会の本部部門の情報交換会や金融機関向け説明会・勉強会等により「信用補完制度の見直し」による適切なりリスク分担や各種保証制度の周知に努めた。</p> <p>なお、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、コロナ関連保証の周知と資金繰り支援を最優先として取り組み、みやぎ中小企業支援ネットワーク会議は中止した。</p> <p>【広報・周知活動等】</p> <table border="1" data-bbox="770 932 2119 1406"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金融機関勉強会等</td> <td>131回</td> <td>69回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>（金融機関との情報交換会）</td> <td>21回</td> <td>11回</td> <td>9回</td> </tr> <tr> <td>（研修会・勉強会）</td> <td>110回</td> <td>58回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>金融機関訪問</td> <td>970回</td> <td>949回</td> <td>388回</td> </tr> <tr> <td>ネットワーク会議</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>サポート会議</td> <td>425回</td> <td>292回</td> <td>56回</td> </tr> <tr> <td>専門家派遣</td> <td>43企業</td> <td>27企業</td> <td>6企業</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	金融機関勉強会等	131回	69回	16回	（金融機関との情報交換会）	21回	11回	9回	（研修会・勉強会）	110回	58回	7回	金融機関訪問	970回	949回	388回	ネットワーク会議	2回	2回	-	サポート会議	425回	292回	56回	専門家派遣	43企業	27企業	6企業
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																	
金融機関勉強会等	131回	69回	16回																																	
（金融機関との情報交換会）	21回	11回	9回																																	
（研修会・勉強会）	110回	58回	7回																																	
金融機関訪問	970回	949回	388回																																	
ネットワーク会議	2回	2回	-																																	
サポート会議	425回	292回	56回																																	
専門家派遣	43企業	27企業	6企業																																	

重点課題	取組状況及び自己評価									
	【資金繰り支援】 (単位：百万円, %)									
		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		件数	金額	前年比	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	新型コロナウイルス関連保証承諾	-	-	-	150	2,262	-	19,200	373,731	16,522.1
	創業関連保証承諾	302	2,029	113.7	300	1,803	88.9	220	1,369	75.9
	小口零細企業保証承諾	959	3,975	163.0	941	3,783	95.2	338	1,436	38.0
	東日本大震災復興緊急保証承諾	267	4,851	85.1	596	10,085	207.9	195	3,605	35.7
	協調支援保証	36	1,147	-	39	1,215	105.9	14	412	33.9
	金融機関紹介	4件			9件			10件		
	うち 保証承諾実績	3件 (18百万円)			3件 (16百万円)			8件 (109百万円)		
<p>〔自己評価〕</p> <p>「みやぎ中小企業支援ネットワーク会議」を開催し、金融機関・関係機関と情報共有を図るとともに「サポート会議」の開催や、経営改善に意欲的に取り組む中小企業者等に対し、当協会の「専門家派遣事業」を提案するなど、金融機関と連携した支援ができたと考える。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の懸念からサポート会議や専門家派遣は減少したが、事業継続に必要な資金供給を行うことが経営改善・生産性向上につながるものとして資金繰り支援を最優先に実施したことで、多くの中小企業者等の急場の資金繰りを支えることができたものとする。</p> <p>今後も、より一層金融機関との対話を深めながら、中小企業者等のライフステージに応じた適切なリスク分担のもと、連携体制を強化していく。</p>										

重点課題	取組状況及び自己評価																																																			
4 地方創生等への貢献を果たすための取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ 地域に根ざした保証協会として、創業・事業承継の推進及び学生への金融教育・企業マインドの醸成を図るため、関係機関と連携したセミナー等の開催や資金繰り支援を行った。</p> <p>なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業継続に支障をきたしている中小企業者等にいち早く資金を供給するため、コロナ関連保証の周知及び迅速な資金繰り対応を最優先とした。 (予定していた各種セミナーは自粛又は中止)</p> <p>【広報・周知活動等】</p> <table border="1" data-bbox="768 770 2114 1433"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制度説明会等</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>38回</td> </tr> <tr> <td>(県制度説明会等)</td> <td>5回</td> <td>5回</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>(中小企業家同友会)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>(みやぎ工業会)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>(仙台市医師会)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>(事業承継・引継ぎ支援センター他)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>23回</td> </tr> <tr> <td>金融機関訪問</td> <td>970回</td> <td>949回</td> <td>388回</td> </tr> <tr> <td>市町村・商工会等訪問</td> <td>220回</td> <td>229回</td> <td>66回</td> </tr> <tr> <td>創業セミナー</td> <td>16回</td> <td>11回</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>事業承継セミナー</td> <td>7回</td> <td>5回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>学生向け出張授業</td> <td>4回</td> <td>5回</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	制度説明会等	5回	5回	38回	(県制度説明会等)	5回	5回	12回	(中小企業家同友会)	-	-	1回	(みやぎ工業会)	-	-	1回	(仙台市医師会)	-	-	1回	(事業承継・引継ぎ支援センター他)	-	-	23回	金融機関訪問	970回	949回	388回	市町村・商工会等訪問	220回	229回	66回	創業セミナー	16回	11回	-	事業承継セミナー	7回	5回	1回	学生向け出張授業	4回	5回	-
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																																	
制度説明会等	5回	5回	38回																																																	
(県制度説明会等)	5回	5回	12回																																																	
(中小企業家同友会)	-	-	1回																																																	
(みやぎ工業会)	-	-	1回																																																	
(仙台市医師会)	-	-	1回																																																	
(事業承継・引継ぎ支援センター他)	-	-	23回																																																	
金融機関訪問	970回	949回	388回																																																	
市町村・商工会等訪問	220回	229回	66回																																																	
創業セミナー	16回	11回	-																																																	
事業承継セミナー	7回	5回	1回																																																	
学生向け出張授業	4回	5回	-																																																	

重点課題	取組状況及び自己評価									
	【資金繰り支援】 (単位：百万円, %)									
		平成30年度			令和元年度			令和2年度		
		件数	金額	前年比	件数	金額	前年比	件数	金額	前年比
	新型コロナウイルス関連保証承諾	-	-	-	150	2,262	-	19,200	373,731	16,522.1
	創業関連保証承諾	302	2,029	113.7	300	1,803	88.9	220	1,369	75.9
	事業承継関連保証承諾	2	32	-	3	41	128.1	2	14	34.1
仙台市社会起業家支援特区保証承諾	6	62	54.9	14	95	152.9	13	129	135.3	
<p>[自己評価]</p> <p>創業予定者や創業間もない中小企業者等に対して創業セミナーを開催し、創業準備から開業までの流れや創業関連保証制度等の周知を図った。また、地方自治体等が開催した創業セミナーにも講師派遣し、創業関連保証制度等の周知に努めた。</p> <p>高校生向け出張授業では「ビジネスプランの作成支援」を行ったほか、大学生、専門学校生向けのセミナーでは、創業の現状、事前準備等について説明を行った。これにより、起業マインドの醸成に役立てたものとする。</p> <p>事業承継については、関係機関と連携して「事業承継セミナー」を開催し、今後の事業運営や事業承継に対する不安等がある中小企業者等に対して、後継者問題や事業承継の際のポイント及び事業承継関連保証制度等の周知に努めた。</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、創業計画の伴走支援や関係機関と連携した制度推進及び周知活動に努めていくほか、当協会ホームページ及びSNS（LINE）により、中小企業者等にとって有益となる関係機関主催のイベントや補助金等の支援策の発信を強化していく。</p>										

重点課題	取組状況及び自己評価																																
<p>5 金融機関・関係機関と連携した経営支援への取組み</p>	<p>[取組状況]</p> <p>【金融機関・関係機関との連携強化】</p> <p>(1) 県内に本店を有する金融機関の支援方針等を共有するため、情報交換会を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="831 603 1924 703"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金融機関との情報交換会</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) コロナ禍に置かれている県内中小企業者等の現状を把握するため、中小企業家同友会との情報交換会を実施した。</p> <p style="padding-left: 40px;">・中小企業家同友会との情報交換会 2回（令和2年度から実施）</p> <p>(3) 中小企業支援機関主催の連絡会議に参加し、情報の共有を図った。</p> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="831 991 1924 1201"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮城県事業承継ネットワーク会議</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>みやぎ地域産業支援プラットフォーム会議</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>みやぎ中小企業支援ネットワーク会議</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 適切な経営支援を図るため、金融機関への訪問を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="831 1318 1924 1422"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金融機関訪問</td> <td>970</td> <td>949</td> <td>388</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	金融機関との情報交換会	21	11	9		平成30年度	令和元年度	令和2年度	宮城県事業承継ネットワーク会議	2	2	2	みやぎ地域産業支援プラットフォーム会議	2	2	3	みやぎ中小企業支援ネットワーク会議	2	2	中止		平成30年度	令和元年度	令和2年度	金融機関訪問	970	949	388
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
金融機関との情報交換会	21	11	9																														
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
宮城県事業承継ネットワーク会議	2	2	2																														
みやぎ地域産業支援プラットフォーム会議	2	2	3																														
みやぎ中小企業支援ネットワーク会議	2	2	中止																														
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
金融機関訪問	970	949	388																														

重点課題	取組状況及び自己評価																								
	<p>(5) 名取市商工会主催の個別相談会に当協会の中小企業診断士を派遣した。</p> <p>・ 個別相談会 相談企業数 3企業（令和2年度初開催）</p> <p>【中小企業者等に対する経営支援】</p> <p>(1) 中小企業者等に対する経営支援を行うため、企業訪問を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="831 660 1910 764"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業訪問</td> <td>578</td> <td>493</td> <td>164</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) サポート会議を開催し、金融調整を含む経営支援に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位:回)</p> <table border="1" data-bbox="831 871 1910 970"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サポート会議</td> <td>425</td> <td>292</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 国の経営支援強化促進補助事業を活用した外部専門家派遣事業を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 1094 1910 1201"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部専門家派遣</td> <td>43</td> <td>27</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	企業訪問	578	493	164		平成30年度	令和元年度	令和2年度	サポート会議	425	292	56		平成30年度	令和元年度	令和2年度	外部専門家派遣	43	27	6
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
企業訪問	578	493	164																						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
サポート会議	425	292	56																						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
外部専門家派遣	43	27	6																						

重点課題	取組状況及び自己評価																																											
	<p>(4) 経営者保証ガイドラインの適切な運用と周知に努めた。</p> <p>＜法人で経営者保証無しの実績＞ (単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 499 1917 874"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BK連携型</td> <td>21</td> <td>40</td> <td>293</td> </tr> <tr> <td>財務型</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>担保型</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>コロナ関連</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,530</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> <td>50</td> <td>1,829</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 経営改善計画策定に係る費用の一部補助を行った。</p> <p>(単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="831 987 1917 1155"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助企業数</td> <td>31</td> <td>22</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>7,272</td> <td>5,026</td> <td>3,066</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔自己評価〕</p> <p>中小企業者等への支援態勢を強化すべく「みやぎ中小企業支援ネットワーク会議」を主催し、金融機関や各関係機関と経営支援に関する情報の交換・共有化を図っており、緊密な関係を構築してきた。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大を受け同会議を中止せざるを得ない状況となったが、今後は、コロナ禍に置かれている中小企業者等へのサポートを強化していくため、同会議の</p>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	BK連携型	21	40	293	財務型	1	2	1	担保型	1	0	2	社債	5	8	3	コロナ関連	—	—	1,530	合計	28	50	1,829		平成30年度	令和元年度	令和2年度	補助企業数	31	22	15	補助金額	7,272	5,026	3,066
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																									
BK連携型	21	40	293																																									
財務型	1	2	1																																									
担保型	1	0	2																																									
社債	5	8	3																																									
コロナ関連	—	—	1,530																																									
合計	28	50	1,829																																									
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																									
補助企業数	31	22	15																																									
補助金額	7,272	5,026	3,066																																									

重点課題	取組状況及び自己評価								
	<p>Web開催により、本業支援の重要性等について目線合わせを行い、地域一体となって支援に取り組んでいく。(令和3年4月にZoom開催済)</p> <p>そのほかの各種経営支援については、金融機関訪問による情報交換を積極的に行い、サポート会議の開催を軸に経営改善計画策定や外部専門家派遣等の支援につなげることができたと考えている。</p> <p>令和2年度は、資金繰り支援を最優先としたことや新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、各種取組みの実績は低調な結果となったが、そのような中、新たに中小企業家同友会との情報交換会を開催し、コロナ禍におかれている県内中小企業者等の現状把握に努めた。</p> <p>また、経営者保証に関する取扱いについては、「県CV保証」における経営者保証免除対応の周知により大幅に伸長することができた。</p> <p>今後は、中小企業者等への資金供給が一巡したこともあり、ポストコロナに向けて中小企業者等の「過剰債務の早期解消」と「事業再構築に向けたサポート」を基本方針とし、ネットワーク会議やサポート会議の仕組みを活用しながら関係機関と一体となって支援していく方針である。</p>								
6 期中支援・期中管理への取組み	<p>[取組状況]</p> <p>【創業保証利用先への支援】</p> <p>○ 創業保証利用先に対して、金融機関・関係機関と連携した支援に努めた。</p> <p>※開業後1か月、6か月、及び1年(必要に応じ)経過後に企業訪問等</p> <p style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 1369 1933 1474"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創業フォローアップ</td> <td>104</td> <td>80</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	創業フォローアップ	104	80	2
	平成30年度	令和元年度	令和2年度						
創業フォローアップ	104	80	2						

重点課題	取組状況及び自己評価																																				
	<p data-bbox="757 395 1167 427">【大口保証利用先に対する支援】</p> <p data-bbox="757 451 2096 539">○ 保証債務残高が80百万円以上でコロナ関連保証の利用が無く、かつ、条件変更（返済緩和）を行っていない先に対して、現況調査を実施した。</p> <p data-bbox="1742 563 1899 595" style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 608 1924 815"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大口保証利用先調査</td> <td>73</td> <td>107</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>内、訪問実施</td> <td>22</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>内、期中支援実施</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="757 834 1462 866">【条件変更（返済緩和）等を行った企業に対する支援】</p> <p data-bbox="757 890 2096 1026">○ 平成30年度、令和元年度は直近2年度において連続して条件変更を行っていた先、令和2年度は令和2年2月以前から条件変更を行っており、コロナ関連保証での真水支援が無い先等に対して、現況調査を実施した。</p> <p data-bbox="1742 1058 1899 1090" style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 1102 1924 1257"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>条件変更先調査</td> <td>449</td> <td>455</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>内、期中支援提案</td> <td>111</td> <td>125</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1742 1273 1899 1305" style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 1318 1924 1422"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>条件変更先</td> <td>1,409</td> <td>1,394</td> <td>1,311</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	大口保証利用先調査	73	107	41	内、訪問実施	22	2	0	内、期中支援実施	2	2	0		平成30年度	令和元年度	令和2年度	条件変更先調査	449	455	123	内、期中支援提案	111	125	0		平成30年度	令和元年度	令和2年度	条件変更先	1,409	1,394	1,311
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																		
大口保証利用先調査	73	107	41																																		
内、訪問実施	22	2	0																																		
内、期中支援実施	2	2	0																																		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																		
条件変更先調査	449	455	123																																		
内、期中支援提案	111	125	0																																		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																		
条件変更先	1,409	1,394	1,311																																		

重点課題	取組状況及び自己評価												
	<p>【早期延滞管理】</p> <p>○ 期限経過・延滞先及び事故先を抽出したリスト「早期延滞管理表」に基づき、延滞1回の先から金融機関を通じ現況調査を行い、初期段階からの金融正常化に向けた取組みを行った。</p> <p style="text-align: right;">(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="831 608 1924 762"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総延滞保証債務残高</td> <td>5,033</td> <td>4,691</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>事故債務残高</td> <td>3,607</td> <td>4,269</td> <td>2,006</td> </tr> </tbody> </table> <p>【「県CV保証」利用先に対する支援】 (新たな取組み)</p> <p>○ 「県CV保証」利用先で元金返済据置中の企業のうち、返済開始時期が近づいている先に対して、モニタリング(現況調査)を実施し、必要に応じて条件変更(返済緩和)や追加支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査企業数 256企業(令和2年9月から開始) ・内、サポート会議開催 2企業、条件変更支援 11企業、真水追加支援 15企業 <p>[自己評価]</p> <p>創業関連保証利用先に対しては、フォローアップ訪問により事業計画の進捗状況等を確認し、実態に即した助言を行ったほか、必要に応じてよろず支援拠点等関係機関の紹介を行うなどの期中支援に努めた。</p> <p>大口保証利用先及び条件変更先に対しては、事業者の現況調査や金融機関の支援スタンスを確認し、必要に応じて外部専門家派遣やサポート会議開催の提案を行うなどの期中支援に努めた。</p> <p>延滞先に対しては、令和元年8月に運用開始した「早期延滞管理表」に基づく期中管理の強化に加</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	総延滞保証債務残高	5,033	4,691	1,390	事故債務残高	3,607	4,269	2,006
	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
総延滞保証債務残高	5,033	4,691	1,390										
事故債務残高	3,607	4,269	2,006										

重点課題	取組状況及び自己評価												
	<p>えて、「県CV保証」による資金繰り支援やコロナ関連保証利用先等に対する各種支援を行ったことで令和2年度末の期限経過・延滞先、事故債務残高は大幅に減少するなど一定の効果があったものと考えている。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の長期化により中小企業者等を取巻く環境は以前にも増して厳しい状況にあり、今後は体力を消耗した企業の法的整理等による倒産増加が危惧されることから、引き続き個々の実情に応じた資金繰り支援や期中支援を継続するとともに、新たに事業者へのアンケート等を通じて経営支援を必要とする先の掘り起こしに努め、事故の未然防止・代位弁済の抑制を図っていく。</p>												
7 事業再生支援への取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>【震災に係る債権買取支援】</p> <p>○ 東日本大震災の被災により二重債務となっている中小企業者等に対する再生支援に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 1098 1917 1254"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>債権買取支援決定</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エグジットファイナンス</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	債権買取支援決定	3	0	0	エグジットファイナンス	7	20	10
	平成30年度	令和元年度	令和2年度										
債権買取支援決定	3	0	0										
エグジットファイナンス	7	20	10										

重点課題	取組状況及び自己評価																								
	<p>【再生支援】</p> <p>(1) 宮城県中小企業再生支援協議会（以下、「再生支援協議会」という。）との連携による再生支援に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 603 1912 815"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常分（計画策定）</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>特例リスケ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>求償権消滅保証</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）との連携による再生支援に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位:企業)</p> <table border="1" data-bbox="831 935 1912 1038"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定支援業務実施</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔自己評価〕</p> <p>震災関連の債権買取支援は取組み開始から9年が経過し、昨年度に続き債権買取支援実績は無く、令和2年度をもって買取支援業務は終了となった。</p> <p>エグジットファイナンスに関しては、定期的に各支援機関との情報交換（モニタリング先）に努めているが、令和2年度は「県CV保証」による資金繰り支援を最優先にしてきたことやコロナ禍による先行き不透明感から前年同期実績を下回る結果となっている。ただし、エグジット未了の企業がまだ多く残されていることから、金融機関や各支援機関との連携をより一層強化し、円滑なエグジット</p>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	通常分（計画策定）	29	31	21	特例リスケ	—	—	97	求償権消滅保証	1	1	1		平成30年度	令和元年度	令和2年度	特定支援業務実施	1	1	1
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
通常分（計画策定）	29	31	21																						
特例リスケ	—	—	97																						
求償権消滅保証	1	1	1																						
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																						
特定支援業務実施	1	1	1																						

重点課題	取組状況及び自己評価
	<p>の促進を図っていきたい。</p> <p>また、令和2年度に再生支援協議会の支援メニューに追加された「特例リスケ」については、これまで97企業の計画成立となっており、迅速な支援を行うことができた。</p> <p>そのほか、求償権先で事業再生の可能性がある企業については、金融機関及び再生支援協議会と連携し、求償権消滅保証による正常化を図る取組みに努めており、各年度で1企業支援することができた。</p> <p>現在のコロナ禍の状況を踏まえると、金融機関や各支援機関との情報交換を活発化して1社でも多くの休廃業の抑制に努める必要があり、中小企業者等への経営改善や事業再生を促進する情報の提供や働きかけを関係機関と連携して最大限努力する。特に再生支援協議会の支援を受けている中小企業者等については、特例リスケから通常の再生計画策定支援へ移行することを視野に入れ、より緊密な連携を図りながら柔軟に対応していく。</p> <p>また、日本政策金融公庫及び商工組合中央金庫の資本金劣後ローンとの協調支援も活用しながら、ポストコロナに向けた円滑な再生支援に取り組むことが必要と考える。</p>

【(3)回収部門】

宮城県信用保証協会

重点課題	取組状況及び自己評価																												
8 求償権回収の効率化	<p>〔取組状況〕</p> <p>①債務者及び連帯保証人等の現況調査の早期対応</p> <p>求償権債務者及び連帯保証人等の実態把握については、早期対応を念頭に住所・資産・相続人等の調査を継続して行った。特に代位弁済後3年以内の求償権先を重点に管理し、回収財源の掘り起しに努めた。</p> <p>②一部弁済による連帯保証債務免除の活用や求償権消滅保証の実施</p> <p>訪問督促等による債務者等の実態把握に努めながら、誠意ある弁済を継続しているものの完済見込みがない連帯保証人に対し交渉を行い、資力に応じた弁済が回収上有利と判断される場合、一部弁済による連帯保証債務免除に取り組んだ。また、中小企業者への再チャレンジ支援として、関係機関と連携し求償権消滅保証を活用した事業再生支援にも取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">(単位：件，%)</p> <table border="1" data-bbox="739 986 2078 1206"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>前年比</th> <th>令和元年度</th> <th>前年比</th> <th>令和2年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問督促回数</td> <td>863</td> <td>92.5</td> <td>1,032</td> <td>119.6</td> <td>330</td> <td>32.0</td> </tr> <tr> <td>一部弁済による保証債務免除</td> <td>23</td> <td>127.8</td> <td>90</td> <td>391.3</td> <td>52</td> <td>57.8</td> </tr> <tr> <td>求償権消滅保証実施（企業数）</td> <td>1</td> <td>100.0</td> <td>1</td> <td>100.0</td> <td>1</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>③関係機関との連携による不動産処分の促進</p> <p>継続的に担保物件の現況把握を行い、所有者と交渉を図りながら任意処分の促進に努めた。また、任意処分の困難なものや支払誠意のない先については競売申立を行った。</p>		平成30年度	前年比	令和元年度	前年比	令和2年度	前年比	訪問督促回数	863	92.5	1,032	119.6	330	32.0	一部弁済による保証債務免除	23	127.8	90	391.3	52	57.8	求償権消滅保証実施（企業数）	1	100.0	1	100.0	1	100.0
	平成30年度	前年比	令和元年度	前年比	令和2年度	前年比																							
訪問督促回数	863	92.5	1,032	119.6	330	32.0																							
一部弁済による保証債務免除	23	127.8	90	391.3	52	57.8																							
求償権消滅保証実施（企業数）	1	100.0	1	100.0	1	100.0																							

重点課題	取組状況及び自己評価							
	④不誠実な求償権先への法的手続きの強化 債務者等の実態把握に努め、弁済交渉を行ったものの、弁済約束を反故にする等不誠実な求償権先に対しては、求償金請求訴訟や強制競売等の法的手続きを申立て、回収強化に努めた。							
	(単位：%)							
			平成30年度	前年比	令和元年度	前年比	令和2年度	前年比
	担保物件調査件数		108	177.0	34	31.5	21	61.8
	任意処分件数		37	105.7	27	73.0	37	137.0
	任意競売申立件数		14	77.8	14	100.0	11	78.6
	求償金等請求訴訟申立件数		92	70.8	104	113.0	125	120.2
	強制競売申立件数		22	100.0	7	31.8	21	300.0
	⑤保証協会債権回収株式会社（サービサー）の活用 保証協会債権回収株式会社（サービサー）を有効活用し、回収業務の合理化・効率化に努めた。							
	(単位：百万円，%)							
		平成30年度	前年比	令和元年度	前年比	令和2年度	前年比	
求償権委託	企業数	2,306	82.3	2,051	88.9	2,119	103.3	
	件数	4,184	80.8	3,692	88.2	3,838	104.0	
回 収	計画（金額）	500	100.0	370	74.0	370	100.0	
	実績（金額）	293	53.9	504	171.8	379	75.2	

重点課題	取組状況及び自己評価																										
	<p>⑥管理事務停止、求償権整理の促進</p> <p>将来にわたり回収の見込みがなく、管理を行う実益がないと認められる求償権については、管理事務停止及び求償権整理の促進に努めた。</p> <p style="text-align: right;">(単位：件，%)</p> <table border="1" data-bbox="741 616 2078 778"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>前年比</th> <th>令和元年度</th> <th>前年比</th> <th>令和2年度</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管理事務停止</td> <td>499</td> <td>122.9</td> <td>762</td> <td>152.7</td> <td>562</td> <td>73.8</td> </tr> <tr> <td>求償権整理</td> <td>509</td> <td>127.9</td> <td>155</td> <td>30.5</td> <td>847</td> <td>546.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔自己評価〕</p> <p>求償権回収に関しては回収手続の早期着手を課題としてきたが、新型コロナウイルスの感染リスクや債務者及び連帯保証人の経済的な影響等を勘案し、訪問等を自粛した結果、令和2年度は訪問督促が大幅に減少した。</p> <p>債務者等の実情に沿う取組みとして、定期弁済を継続しているが完済まで長期間を要する連帯保証人に対しては、一部弁済による連帯保証債務免除を活用し、回収の効率化に努めた結果、3年間での活用実績は165件であった。また、金融取引正常化への再チャレンジを目的とした求償権消滅保証を行い、3年間で3企業の支援ができた。</p> <p>担保処分については現況調査を踏まえ、任意処分可能なものは任意処分を推進し、処分困難なものは競売申立を行った。</p> <p>そのほか、回収見込みのない先については、管理事務停止・求償権整理手続を行い回収の効率化に取り組んだ。</p>							平成30年度	前年比	令和元年度	前年比	令和2年度	前年比	管理事務停止	499	122.9	762	152.7	562	73.8	求償権整理	509	127.9	155	30.5	847	546.5
	平成30年度	前年比	令和元年度	前年比	令和2年度	前年比																					
管理事務停止	499	122.9	762	152.7	562	73.8																					
求償権整理	509	127.9	155	30.5	847	546.5																					

重点課題	取組状況及び自己評価
	<p>今後、コロナの感染状況及び債務者の意向を確認のうえ、訪問・督促を再開し、実情に配慮しながら回収手続の早期着手に努めるほか、安定した回収財源を維持する観点からも定期弁済先の管理強化に取り組んでいく。また、一部弁済による連帯保証債務免除や求償権消滅保証による支援を行うほか回収見込みのない先については、管理事務停止・求償権整理手続を行い、業務の効率化と回収の最大化に努める必要があると考える。</p>

【(4)その他間接部門】

宮城県信用保証協会

重点課題	取組状況及び自己評価
<p>9 コンプライアンス態勢の推進への取組み</p>	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ コンプライアンスについて職員一人一人が自覚を持ち、公正で透明性の高い組織を構築するため、コンプライアンス実施計画に基づき各種取組みを実施。各種会議や研修等を通じ、コンプライアンスの重要性について繰り返し周知徹底を図ったほか、全職員に対しコンプライアンスに関する書面調査や役員ヒアリング等を実施し、コンプライアンスの浸透状況の把握に努めた。また、個人データの取扱いについて、定期的に点検を実施するなど個人情報適切な管理に努めた。</p> <p>そのほか、反社会的勢力等に対しては、弁護士、警察、暴力団追放推進センター等と緊密に連携することにより、組織全体で関係遮断に努めた。</p> <p>パワーハラスメント防止に向け雇用管理上必要な措置として、コンプライアンス・マニュアル及びプログラムの改正とハラスメント対応要領及び対応マニュアルの制定を行うなどハラスメント防止の周知にも努めた。</p> <p>〔自己評価〕</p> <p>法令等の遵守について、繰り返し各種会議や研修等において周知徹底したことにより、コンプライアンスに対する意識は年々浸透してきているが、今後も各部署の推進活動を強化することにより、組織全体でコンプライアンス態勢の充実・強化と法令等の遵守に対する意識の定着を図っていくことが必要と考える。</p>

重点課題	取組状況及び自己評価
10 人材育成の充実・強化等への取組み	<p>[取組状況]</p> <p>○ 若手職員を中心に、基礎能力向上を目的とした基本業務研修、各担当職務に必要な専門知識習得を目指す部門別研修など、階層や職能に合わせた各種の内部研修を実施したほか、全国信用保証協会連合会などの関係機関が主催する外部研修の受講や信用調査検定受験の推進を図った。</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス関連保証申込みの急増に対し、限られた人員で対応するため、保証審査担当部署以外の職員に対し保証審査の研修を行い、組織横断的な保証対応を行った。</p> <p>なお、例年実施している内部研修及び外部研修については、感染防止及び急増する保証事務に専念するため、上期は概ね中止・延期となったが、下期からオンラインを活用した研修に取り組んだ。</p> <p>○ 「中小企業診断士3倍増5か年計画」（以下、「5か年計画」という。）に基づき、資格取得の促進に努めたが、令和2年度は養成課程・講座の受講が中止されるなど、一時中断を余儀なくされた。</p> <p>○ J T体制の一環として、令和元年度に新入職員を育成する「チューター制度」を導入し、令和2年度から担当部署の経験の浅い若手職員を対象者に加え実施した。</p> <p>[自己評価]</p> <p>新型コロナウイルス対策で繁忙を極める中、組織横断的な取組みを行うことで、新たに保証審査を担える職員を育成することができ、事業継続計画及び働き方改革の側面からも対応力が向上した。</p> <p>内部研修及び外部研修については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、従来同様の研修体系によることが難しい中、令和2年度、初めてオンラインを活用した研修を取り入れた。今後も引き続き積極的にオンラインを活用した研修の機会を提供し、職員の業務に必要な知識の習得やITスキルの向上に努めていくことが必要と考える。</p>

重点課題	取組状況及び自己評価
	<p>中小企業診断士の育成については、3年間で3名が資格を取得し、資格取得者は合計10名となったが、「5か年計画」の目標15名には至らなかった。計画達成を図るため「5か年計画」を延長し資格取得推進とともに、有効的な活用に取り組んでいきたい。</p> <p>「チューター制度」については、新入・若手職員の育成に加え、指導職員自身のスキルアップも図られるなど、人材育成が少しずつ定着してきていると感じられる。</p> <p>今後、ポストコロナを見据え、経営支援・再生支援及び事業承継など中小企業者等の多様なニーズに対応できる職員を育成すべく、オンラインも活用しながらできるだけ多くの職員に対して、研修の機会を提供していきたい。</p>
<p>1.1 財政基盤の強化及び業務の効率化への取組み</p>	<p>〔取組状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長引く低金利の状況の下、運用収入の減少に歯止めをかけるため、公共債中心の運用に代えて比較的利回りの高い電力債等の購入により、効率的な資金運用を図り財政基盤の強化に努めた。 ○ 業務の効率化や執務室内のスペースの有効活用を目的に、業務文書の一部（決算書）の電子化を開始したが、新型コロナウイルス感染症にかかる保証申込急増により、令和2年度上期は電子化を中断し、下期から再開した。また、電子化する業務文書の拡大を図るべく、運用にかかるルールなどを整備した。 <p>〔自己評価〕</p> <p>有価証券の運用については、従来の公共債中心の運用から、比較的利回りの高い電力債に切替え、効率的な運用に努めたことで、運用資産収入の減少に歯止めをかけ、令和元年度以降前年を若干上回</p>

重点課題	取組状況及び自己評価
	<p>る運用資産収入を確保できた。</p> <p>低金利が続く状況下において、今後とも中長期的な視点に立ち、安全性及び効率性を考慮し、金利情勢や購入する債券の銘柄・期間・金額など随時見直しを行い、少しでも財政基盤の強化につなげていくことが必要と考える。</p> <p>決算書の電子化については、令和2年度新型コロナウイルス感染症にかかる保証申込急増により、一時中断したが、下期から再開し、書類保管スペースの確保につながった。引き続き、支店への拡大や他の業務文書への拡大を検討し業務の効率化に努めていきたい。</p> <p>このほか、「信用保証書の電子化」については、基幹システム（COMMONシステム）での環境は整備されたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により導入は進んでいない。今後は金融機関と協議しながら、適切な態勢を整え、保証申込みから融資実行までのリードタイムの短縮を目指し、業務改善を着実に進めていきたい。</p>
12 リスク管理の徹底への取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ システムリスクに対しては、引き続き情報セキュリティの確保を図るべく、システム機器の不正利用や情報漏洩等の防止に向けた体制の維持及び運用の管理に努めた。</p> <p>また、耐用年数の到来したハードウェア及びメーカーサポートが終了したソフトウェア等、システム機器類について更新を行うとともに、災害の発生に備え、システム関連のバックアップ拠点を石巻支店に新設する計画を進め、システムにかかるBCP体制を整えた。</p> <p>○ 災害発生等によるリスク管理に対しては、「事業継続計画」に基づき全部署において緊急時における対策本部・拠点組織の組成確認や緊急連絡網、安否確認方法及び手作業での業務対応訓練を実施し</p>

重点課題	取組状況及び自己評価
	<p>た。このほか、新型コロナウイルス感染防止に向け、マスク着用、換気・手洗いの励行など「新しい生活様式」について周知・徹底に努めたことなどから、役職員から感染者は発生していない。</p> <p>〔自己評価〕</p> <p>システムリスクについては、各種セキュリティ対策や日々の運用管理により、システムの不正利用や情報漏洩は抑えられているが、変化するシステム環境に対応していくため、絶えず新たなセキュリティに関する情報を収集するとともに、定期的な機器類の更新を行っていくことが重要と考える。</p> <p>また、システムのバックアップ拠点については、概ね予定通り設置できたが、今後は、非常時に迅速かつ確実な行動が取れるようマニュアルの整備や定期的な訓練を行い、実効性のある態勢づくりが重要と考える。</p> <p>災害発生等に対するリスク管理に対しては、上記の取組みにより、職員全員に対し事業継続計画や業務の手作業ルールの浸透に努めているが、システムリスク同様、継続した研修や訓練が必要と考える。このほか、新型コロナウイルス感染防止に向け、引き続き感染対策等に万全を期したい。</p>
13 広報の強化への取組み	<p>〔取組状況〕</p> <p>○ 当協会のホームページ及び令和2年6月から開始したSNS（LINE）を積極的に活用し、新型コロナウイルス関連保証や家賃支援給付金等、国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を迅速に発信し周知に努めた。また、令和元年度から大学3年生向けインターンシップを実施し、協会業務の周知を行った。</p>

重点課題	取組状況及び自己評価
	<p>○ キャラクター活用による広報展開として、当協会のオリジナルキャラクター（梵天くん）を選定し令和3年2月から当協会ホームページ、SNS（LINE）及びノベルティ等で活用を始めた。</p> <p>〔自己評価〕</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、セーフティネット保証や危機関連保証を含めた新型コロナウイルス関連保証への関心が高まり、令和2年度当協会ホームページへの閲覧数は、前年度1.6倍（月平均約16,000回）、LINEの友だち登録は約340人となり、中小企業者等や関係機関の役に立つ情報をタイムリーに提供できたと考える。引き続き、コロナ関連施策をはじめ有益な情報を積極的に発信し、併せて、LINEの友だち登録を金融機関職員などに働きかけ、経営者に有益な情報が行き届くよう取り組んでいきたい。</p> <p>インターンシップについては、令和元年度参加者8名（2回開催）に対し、令和2年度20名（3回開催）の参加があった。大学生向け起業家セミナー実施の大学からの参加者も増え、徐々にではあるが協会の知名度向上につながっていると感じている。</p> <p>今後は、当協会のオリジナルキャラクター（梵天くん）をSNS（LINE）等多方面で活用し、中小企業者等や学生など幅広い層に対し、当協会の認知や知名度向上につなげていきたいと考える。</p>

【外部評価委員会の意見等】

宮城県信用保証協会

東日本大震災以降、継続して、被災した中小企業者等に対し、資金繰り支援を行うとともに、関係機関と連携し、サポート会議や外部専門家派遣事業などを活用し、経営支援・再生支援に取り組んできたことが認められる。引き続き、再建途上にある企業や販路喪失等様々な経営課題を抱える事業者に対し、支援に努められたい。

平成30年4月から実施された「信用補完制度の見直し」については、その趣旨を踏まえ、中小企業者等の経営改善や生産性向上を促すため、金融機関との連携を強化し、適切なリスク分担のもと、創業や事業承継等、中小企業者等のライフステージに応じた資金需要に応じるとともに、学生など幅広い層を対象とした各種セミナー等により、金融教育や起業マインドの醸成を図るなど地方創生にも貢献すべく取り組んできたことが窺える。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により甚大な被害を受けた中小企業者等に対する資金繰り支援のため、業務改善により生産性を向上させ、組織横断的な対応により遅滞なく、迅速に必要な資金を供給できたことは評価できる。

今後は、ポストコロナを見据え、中小企業者等の事業再構築や過剰債務の解消等に向け、協会自らがハブ機能を発揮し、サポート会議や中小企業支援ネットワーク会議等を活用しながら、経営支援、再生支援、事業承継支援に取り組むことが必要と考える。

なお、金融機関や関係機関との連携を強化のうえ、中小企業者等のニーズに応じた専門機関への紹介等に積極的に取り組むことで、中小企業者等の休廃業や倒産の防止に努め、代位弁済の抑制を図られたい。

このほか、引き続きコンプライアンス態勢の充実・強化により、経営の透明性及び健全性を確保し、対外的な協会の信頼の維持に努められたい。

3 事業実績

宮城県信用保証協会

(単位：百万円，%)

	平成30年度実績			令和元年度実績			令和2年度実績		
	金額	計画比	前年実績比	金額	計画比	前年実績比	金額	計画比	前年実績比
保証承諾	100,675	106.0	109.8	104,733	104.7	104.0	421,423	409.1	402.4
保証債務残高	266,415	101.7	95.0	257,000	101.6	96.5	499,036	199.6	194.2
代位弁済	5,655	94.3	123.2	6,651	110.8	117.6	4,261	65.6	64.1
実際回収	1,404	70.2	79.0	1,437	89.8	102.4	1,755	109.7	122.2

(注1) 代位弁済は元利合計値

(注2) 実際回収はサービサー委託分を含む